

## 第2回甲賀市投票区域編成審議会 概要版

日 時：令和5年1月30日（月）14時00分～16時02分

場 所：甲賀市役所別館1階 101会議室

出席者：坂本会長、寺井副会長、望月委員、片岡委員、森田委員、吉田委員、澤委員、大町委員、吉川委員、菊池委員、澤田委員、樫野委員

傍聴人：多数

次 第：

1. 開会あいさつ（会長）
2. 類似自治体の投票区の状況について
3. 市内95投票区の現状について
4. その他
5. 閉会あいさつ（副会長）

### 【審議にかかる主な発言】

#### 2. 類似自治体の投票区の状況について

- ・なぜ減らしたいと思われるのか、他と比べて多いという理由としか思えない。理由を教えて欲しい。そうすればその理由で話し合えるので、その視点で数字を見ることができる。
- ・解釈の仕方次第かとは思いますが、期日前投票者が増えていることと当日に選挙する場所が減るというのはカテゴリーが違う。同じ数字で見るとはいいではない。類似しているからと言って減らしてもというのは、それなりに減らす根拠が必要と思う。数字が似ているから減らすというのはやはり違うと思う。
- ・類似自治体の中で減らされて、もしくは少なく、増やしてほしい等の意見が出ていないのかどうか分かるのであれば、その先の話ができると思う。投票所数を類似自治体に合わせてしまうと、甲賀市の良さ、甲賀市の手厚くした部分までが少ないところと合わされてしまう。そのあたりまで細かく議論されたのかどうかちょっとわからない。
- ・投票数が実際にこれで減らないかどうかということのも大事だと思う。  
当日の場所が減るということは他の場所に行くか期日前が増えるということ、当日その場所で行けない方はどうなるのかという話もあるので、そのあたりのチェックも必要で

はないかと思う。

- ・投票所を 1,000 個まで増やそうということはないが、1 個にしてミスが起きないという確証もない。そのため適正数値が必要となるが、類似自治体が適正なのかどうかどのように測ったのかわからない。似せていいのかどうか、難しい判断が迫られると思う。
- ・選挙にかける予算を半分にしても出てくる答え、誰が当落するかはほとんど変わらない。そのあたりを考えると予算が少なければいいなと思う。減らした予算を子どものため等色々なところに回せたらと思う。投票所が多ければ多いほどお金がかかることは自明。頑張っただけ減らすという甲賀市の問いかけは当然かなと思う。減らすか、このような方法があるので大丈夫というところを早く示してほしい。そのことに対して議論をしたいと考えている。

### 3. 市内 95 投票区の現状について

- ・人数の多い地域で数字が増えていると比率としては大きく見えるが、人数が少ない地域でも一定数増加がみられる。かえって人数の少ない地域でも増加が低い地域もある。この比率がバラバラなので個別に数字を当ててみないことにはどれぐらいどの地域が伸びているかわからない。
- ・増加に応じて判断をするときに、比率によってズレが出ると、より不便になる場合もあり得るということ。低い地域ではその可能性に気を付けて配慮したほうが良い。
- ・投票の現状を見ていると、投票所がふさわしいかどうか、若い方々は期日前にいけるが、お年寄りなどの弱者にとってはこの投票所がふさわしいかどうか、投票所の地域の方々の投票所に対する声等、現状をもう少しまとめて検討いただくほうが良いのではないかと。
- ・外出時に車いすが必要であり、初めて選挙に行った際は和室であったが、職員の方総出でサポートをいただき、投票が 1 人で可能であった。再編により不便となった場合同じようにやってもらえるのか。
- ・過去の数字を見た際に、選挙の種別によっては身近な選挙だけでよいと思うこともあると思う。当日の天気によっても左右されるものでもある。あくまで数字であるので、期日前投票率の低い場所をピックアップするなどして説明をしてもらいたいと思う。
- ・75 投票所草の根ハウス栗林会館、平和堂を借りておられるという状況で、駐車場のスペースがないが、逆に平和堂が近いということで選挙に行きやすい。買い物ついでなど。投票所としてひどいところもあると思うが、利便性の高い立地もあるのではないかと。そのあたりも加味して考えるべきでは。
- ・本日データをいただき、次回は区割りの提案があるわけだが、現時点でのデータはこれだ

けか。ここの中で出てきた意見とこのデータだけで区割りをされるのか。

できるかどうかはわからないが、年齢層別に数字を集約することはできないか。

期日前投票に比較的若い方が行っておられるかも、ということが想定できる。

今後の区割りについて少し取り扱うデータが不足しているように見受けられる。

- ・データが少ないと区割りに反映がしづらいまま策定となる恐れがある。
- ・投票管理者を何度もしたことがあるが、車椅子で来られる方、目の不自由な方、お年寄りの方等、様々な困っている方が投票所には来られる。それでも投票に行かなければと必ず投票に来られる。もし投票場所が違う場所となり遠くなればその方々がどうやって来られるのかと思うと心配する。

- ・投票所が良い場所であれば困っている方もスムーズに行けると思うが、どうしても困難者にとっては近い方が行きやすいのではないか。

投票所を少なくして税金を他のことに使う方が良いのか、それとも投票率を上げることを優先するなら今のままでも良いし、中々審議が難しい。

- ・高齢者や障がい者の方でも入所されている方については、施設において措置をされていると思う。

しかし通所や在宅になるとタクシーの台数というよりも予約という点でハードルが高く不可能になる。

滋賀県内で減らすところが出てきているが、県内の状況でそのあたりの問題点をどう解決しているかを調べてもらえると審議の資料となると思う。

- ・次回可能であれば、ローデータの状態ではなく集計されたデータを貰えると助かる。もう少しクロス集計されたものをお願いする。